



友の会 会報

TAKAYAMA-UICHI MEMORIAL MUSEUM OF ART

〒039-2501 青森県七戸町鷹山宇一記念美術館内
〒039-2501 青森県七戸町鷹山宇一記念美術館内
<TEL>0176-62-5858 <FAX>0176-62-5860
<e-mail>takayamamuseum@ruby.plala.or.jp



鳥谷幡山「十和田湖西湖乃砂浦図」(絹本淡彩) 1942(s17)年

鳥谷幡山(とや・ばんざん)

美術館や博物館では、各々の館の特徴や性質、目的などにより必要な作品や資料を収集し、そのための調査研究を行っていただきます。そして、調査研究の結果として、主に「常設展」という形で作品を館内に展示することにより、皆さんにご紹介しています。鷹山宇一記念美術館の作品や資料の収集対象となっているのは、鷹山はもちろんです。七戸町出身、ゆかりの画家による作品や資料が中心で、この対象となる画家を「収集作家」と言います。現在は4名、そのうちの一人が、日本画家の鳥谷幡山です。

幡山は、明治9(1876)年、鳥谷丹堂(七戸町・瑞龍寺住職)の次男として生まれました。本名を又蔵と言ひ、幡山とは雅号です。郷里・七戸町の西にそびえる、なだらかな稜線を描く古くからの信仰の山・八幡岳からいたいたもの、と言われています。師は寺崎広業。文展・官展を中心に活躍し、当時の東京画壇でも大規模な画塾を開き、美術雑誌などの挿絵でもよく知られた秋田県出身の日本画家で、幡山は明治28(1895)年に上京し、内弟子として入門、塾頭にまでなりました。また、他塾生ですが、親交の深かった秋田県出身の日本画家・平福百穂の勧めにより、東京美術学校の臨時入学試験を受け、日本画科2年に編入してからは、狩野派最後の巨匠とも称された橋本雅邦より宋元風の絵を学びます。「山水画においては雅邦先生に私淑した」と画家自ら語っていますが、確かに、当館収蔵の作品を見る限りでは、美人画では広業の、山水画には雅邦の影響が見受けられます。

そして、彼の作品の最も大きな特徴は、遺された作品の多くに描かれている奥入瀬・十和田湖です。特に中央画壇と一線を画してからは、もっぱら十和田湖の紹介に挺身します。幡山を「ミスター十和田湖」と言っても過言ではないほどです。

現在では日本を代表する名勝として観光客も多く訪れる十和田湖と奥入瀬ですが、明治末までは交通の便もなく、その美しさは地元の一部の人々しか知るすべはなかったと言います。20才の時、初めて十和田湖を訪れその神秘的な美しさに魅せられたことが端緒となり、以来、これを画題にして、自ら「神苑霊湖」と称した十和田湖の紹介につとめました。

まだまだ知る人ぞ知ると言った存在の幡山ですが、当美術館の活動を機に、少しでも多くの方々が日本画家・鳥谷幡山を承知していただけたら、幸いです。そのためにも、今後も一層調査研究に精進してまいります。

今、鷹山宇一記念美術館では、青森放送創立55周年を記念して、格調高い日本画コレクションで著名なヤマタネグループより作品を借用し、「日本画名品展」を開催しています。寺崎広業、平福百穂、弘前出身で幡山と同門の鳥谷龍岬など、ゆかりの画家たちの作品も出品されています。是非一度、ご鑑賞ください。

(学芸員 大池亜希子)

岩手県立美術館
「アメデオ・モディリアーニ展」を訪ねて
研修旅行記

疑問を解消してくれた
研修旅行

七戸町 石沢いね子

天候にも恵まれた秋空の中、車中三時間後は二〇〇一年一〇月に開催した岩手県立美術館で開催されている「アメデオ・モディリアーニ展」である。

私はこれまで彼の作品を目にした時「首が長く、腫のない独特の表現はどこから来るのだろう」という疑問をずっと持っていた。にも関わらずその事を深く調べる事もなく今まで来た。今回の研修旅行ではその事が分かるかもしれないという期待があった。昼食までの一時間半という鑑賞時間でどの程度分かるのか、いや永遠の謎かもしれないとあきらめ半分の気持ちで鑑賞していたが、その疑問は鑑賞してすぐに解けた。彼の奔放な生活から生まれた、見る人に語りかけるような数々の作品は、彼の人生そのものであった。彫刻家を目指し、単純な手段によってどれ



岩手県立美術館 ホールにて

ほど深く豊かな表現が可能かを追求した彼は、顔の表情よりも全体の造形を重視し、その結果の表現であったと言う事を知った時は、参加して良かったという満足感とともに長い間喉につつかえていた物がようやく取れたような爽快感を味わった。心身でじかに触れる事のできる旅行の醍醐味は、テレビや本とまた違

った、より大きな幸せなひとときを味わわせてくれる。旅行の為に世話下さった担当の皆様へ感謝し、広がる田園風景を車窓から眺め、豊かな安らぎにも似た充実感をかみしめ帰途に着いた。

少くも分かった

モディリアーニの絵

十和田市 樋川裕子

腫のない目、そして異様に長い首の肖像。常に首筋の冷えに悩まされている私にとって妙に気にかかる存在ではあったが、別に好きな絵ではなかった。というわけで本物に触れたら少しはよとの思いで参加した。作品は小品等も多いせい外と少なく感じられた。そのかわり彼のとなりを知るための資料がずらり。これが有り難かった。作品の背景を多少なりとも知る事で確かに鑑賞に深み、親しみが湧いてくる。これは鷹山先生の生誕一〇〇年記念の作品展を見たときに心に焼き付いていた事だったので、さらにその感を強くした。最初に彫刻家を目指したモデ



薔薇を持つ若い女 (1916年 個人蔵)

イリアーニにとって絵画でも全体的なフォルムの表現を大切にしている意図から腫は重要な要素では無かったようだ。でもやはり私は腫が描かれた「薔薇を持つ若い女」が好き。芸術って奥が深い。敬老の日に旅行を計画した主催者には感服しきり。というのはこの日に限り65歳以上の人は入場無料との事。その分少しは友の会への寄附に貢献できたよう。昼食は岩鑄。私にとってほろ苦い思い出の場所。若かりし頃職場の旅行でわんこそば大会に挑戦。？杯を平らげて何と女子の部の横綱と相成ったのだ。絶好の行楽日和。車窓から見える芒の群れを遠い昔に「おいでおいでだあ」と感嘆していた子供達からも思いやりメッセージが届き、35歳で短くも激しい生涯を終えた彼の倍以上の年月を平凡に生きてきた私達にとって、この日はまたとない忘れ得ぬ日となった。

青森放送創立55周年記念
ヤマタネ所蔵作品による「日本画名品展」
 開幕!! 10月13日迄開催



青森放送株式会社の創立55周年を記念した「日本画名品展」が、9月13日から始まりました。

創業者・山崎種二の日本画コレクションに端を発し、現在東京に本拠地を置く企業「ヤマタネグループ」所有の日本画コレクションは、横山大観・上村松園・奥村土牛など、明治・大正・昭和と活躍をした我が国を代表する日本画家の充実したコレクションとして知られています。

開幕に先立ち9月12日行われた、開催式・テープカット・レセプションパーティーをご紹介します。



▲開催式には三村青森県知事代理としてご来館の青森県副知事・蝦名武様よりご挨拶を頂戴いたしました。

▲続いて、七戸町長・福士孝衛様よりご挨拶



▲青山浄晃当財団理事長につづき、主催者を代表して青森放送株式会社代表取締役社長・石田稔様によるご挨拶。



▲テープカットをして「日本画名品展」の開幕を祝いました。左から当財団理事長・青山浄晃、青森放送株式会社代表取締役社長・石田稔様、七戸町議会議長・田中正樹様、青森県副知事・蝦名武様、七戸町長・福士孝衛様、株式会社ヤマタネ文化事業部長・関勝美様、当館名誉館長・鷹山増子

▼ソプラノ・北村美緒さん(鷹山宇一孫)が3曲を披露され、式典に花を添えてくださいました。



▲貴重な作品をお貸し出しくださったヤマタネグループを代表し、株式会社ヤマタネ文化事業部長・関勝美様よりご挨拶を頂戴しました。



▼式典終了後はレセプションパーティーを開催。青森放送株式会社常務取締役・長崎昭義様(右)よりご挨拶を、七戸町議会議長・田中正樹様(中央)より乾杯のご発声を賜りました。また、青森放送創立55周年を記念して、当館鷹山ひばり館長からパースデーケーキをプレゼント!!青森放送を代表して石田社長がろうソクの火を吹き消し、一足早い55周年を祝いました。



*「日本画名品展」は、10月13日迄好評開催中!皆様のご来館をお待ちしております!! ▲本展出品/奥村土牛「聖」

●美術館日誌●

【6月】

- ▼2日/NHK仙台「鷹山宇一誕生一〇〇周年記念展」を取材
- ▼5日/鷹山館長新幹線実行委員会出席(七戸庁舎)。自動ドア定期点検(ナブコ)
- ▼6日/消防設備定期点検(昭和電気)
- ▼7日/七彩会油絵教室開催
- ▼10日/火曜サロン開催。鷹山館長東京出張(6/12迄)。冷暖房入れ替え作業(オキタ工業)。電気設備定期点検(佐藤電気)
- ▼13日/七戸町教育委員会主催「ふるさとの伝統さがし講座」鷹山宇一を学習
- ▼14日/友の会総会開催
- ▼16日/永井画廊代表取締役・永井龍之介先生「こ来館、美術講演会(絵画よもやま話)」開催(参加者80名)。永井先生を囲むでの懇親会を開催
- ▼17日/七戸町美術資料収集審議会開催、2階工房に於いて開催
- ▼20日/鷹山館長青森出張
- ▼21日/美術館あーと！くらぶ「コム版画をつくるうー」開催
- ▼22日/七彩会油絵教室開催
- ▼23日/鷹山館長青森出張(生涯学習審議会)。大池青森出張(鷹山宇一誕生一〇〇周年記念展後期展示使用作品借用)。第2回鷹山宇一誕生一〇〇周年記念事業実行委員会開催
- ▼24日/鷹山館長階上町出張講演。
- ▼平内町切り絵同好会17名様「こ来館

- ▼25日/青森県議会総務企画委員会新幹線駅舎周辺視察のため来館、七戸町新幹線建設対策課2階工房にて説明
- ▼26日/鷹山館長青森市出張(ニッセイ財団贈呈式に出席)
- ▼28日/鷹山館長青森市出張(日本ボランティア学会シンポジウムに出席)
- ▼29日/ウッドカッターズクラブ「お部屋のプレートづくり」。鷹山宇一誕生一〇〇周年記念事業実行委員会常任委員会開催
- ▼30日/鷹山宇一誕生一〇〇周年記念展後期展示替え作業

【7月】

- ▼1日/鷹山宇一誕生一〇〇周年記念展後期展示初日
- ▼2日/あっとホームゆらくや7名様「こ来館。当財団収蔵美術品の損害保険更新手続き(ヤマト)
- ▼3日/鷹山館長青森出張(講演)。
- ▼青森銀行黒石支店年金友の会40名様、NHK文化センター弘前19名様「こ来館
- ▼4日/友の会会報51号発送作業。
- ▼弘前市立東中学校父兄25名様「こ来館
- ▼5日/鷹山館長青森市出張(青い森ファンド実績報告会)。美術館あーと！くらぶ「コム版画をつくるうー」開催
- ▼6日/七彩会油絵教室開催
- ▼10日/電気設備定期点検(佐藤電気)
- ▼11日/鷹山館長青森出張。八戸市山脈句会12名様「こ来館
- ▼16日/鷹山館長十和田市出張(観光圏整備事業協議会出席)

- ▼18日/鷹山館長青森市出張(長内昭子先生東奥スポーツ賞受賞祝賀会)
- ▼20日/ウッドカッターズクラブ「タオルハンガーづくり」開催。青森きぶしの会22名様「こ来館
- ▼24日/鷹山館長七戸小学校にて「虫歯予防ボスター」審査。青森銀行板柳支店年金友の会56名様「こ来館
- ▼27日/平川市文化協会42名様「こ来館
- ▼29日/七戸町教職員初任者及び赴任者「ふるさと学習」28名様「こ来館。
- ▼青森市美術科教員研修4名様「こ来館
- ▼31日/七戸町美術資料お披露目式準備・リハーサル

【8月】

- ▼1日/美術館開館記念日、夜7時まで延長開館。広報しちのへ7月号無料招待券利用日。七戸町美術資料お披露目式開催、町購入鷹山宇一作品2点を公開(8/31迄)
- ▼2日/ウッドカッターズクラブ「美術館あーと！くらぶ合同ワークショップ」開催
- ▼3日/大人のためのワークショップ「銀細工&デコアート」開催
- ▼4日/日本画名品展打合せのため、青森放送(株)営業局長・時苗様、同次長・山本様、RABサービス社長・加藤様「こ来館
- ▼6日/電気設備定期点検(佐藤電気)
- ▼5日/南部藩児童交流事業参加の岩手県遠野市と七戸町の小学6年生児童44名・関係者17名様「こ来館、ワークショップ「銀細工」を体験
- ▼6日/東北電力(株)7名様「こ来館。

電気設備定期点検(佐藤電気)

- ▼7日/鷹山館長青森出張
- ▼9日/美術館あーと！くらぶ「多色刷り木版画をつくるうー」開催
- ▼10日/ウッドカッターズクラブ「美術館あーと！くらぶ合同ワークショップ」開催
- ▼12日/ダイサン印刷岩澤様「こ来館(日本画名品展チケット等納品、展覧会図録打合せ)
- ▼17日/ウッドカッターズクラブ「美術館あーと！くらぶ合同ワークショップ」開催
- ▼19日/上北地方小学校教育研究会「図画工作部会研究部主催による、「鷹山宇一記念美術館との図工に関する連携研修会」開催、8名様「こ来館
- ▼20日/日本画名品展ボスター納品、発送作業
- ▼21日/鷹山館長、大池、青森市出張(青森放送へ日本画名品展ボスター等印刷物納品、打合せ)
- ▼23日/七彩会油絵教室開催。階上町「階上キャンパス」42名様「こ来館
- ▼24日/ウッドカッターズクラブ「美術館あーと！くらぶ合同ワークショップ」開催
- ▼28日/五所川原市交通安全母の会29名様「こ来館
- ▼29日/二科会鹿児島支部長「一行5名様「こ来館
- ▼31日/鷹山宇一誕生一〇〇周年記念展最終日



わたしの
おすすめ
美術館

感じるための美術館：
十和田市現代美術館

十和田市 小向 慎



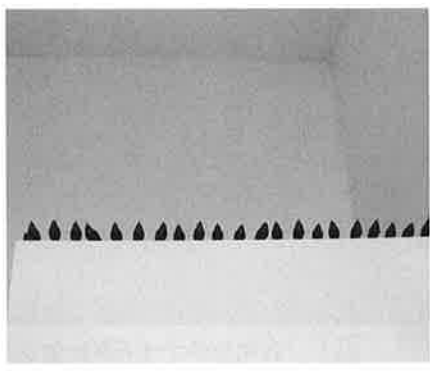
美術館に行つて絵を見てこよう、
と思つている私がいる。
十和田市現代美術館。平成二十年
四月、櫻の満開と共にオープン。
極彩色の花に飾られた馬のモニユ
メントに出迎えられる、建物に入りチ
ケットを買う。
「ン？」
床面がキレイに彩られています。
「ホウ、しゃれてる・・・」

おもむろに解説を見たらこれも作品
の一つ。???

「知つている美術館とは違う？」
進んだら出くわしたのが巨大なお
ばさんの像。新聞等で写真は見てい
たが、実物の大きさ、リアルさの迫
力は一瞬息をのんでしまう。現代で
最も人気の高いロン・ミュエクの作
品。ぽつちやり柔らかそうな少し血
管の浮いた手は、さわつたら暖かい
んじやないかと思うほど。洋服の布
の質感、靴の皺もつい自分の足下と
見比べてしまう。

六角形の紫、青の光のガラスで
きたトンネルの中を不思議な音と共
に歩く空間。段差に対する足下の緊
張がロボットになつたように思えて
くる。建物の外側からここにいる人
がそのまま作品のように見えるのだ
が、誰も外は気にしないで自分の世
界に入つている。
屋上の白い手すりに囲まれた青い
空間も作品の一つ。

水を抜いたプールの
ような床に白い水玉
模様所々にあり、
目玉のようにも見え
る。これも???
階段室の全面の彩
色も、幼稚園に迷い
込んだみたい。ここ
にも白い目玉の模様
があちこちにあり、
誰かに見られている
ようだ。
夜の高速道路を見
下ろす喫茶店のよう



これも作品の一つ???

な作品もある。暗い室内の椅子に腰
を掛け、人気がない外の夜景を見て
いると、ずっと前からここに座つて
誰かを待つていたような気分になる。
懐かしいような落ち着いてしまう空
間。

二十二点の作品がそれぞれ、つな
がつてはいるが独立した箱に入つて
いて予想もつかない展開なので、次
の作品への期待感は大い。ちなみ
に、外側の建物全体のライトアップ
も作品の一つである。
『十和田市現代美術館は、空間全
体を使って表現されている「インス
タレーション」という形態の作品が
多く展示されている(美術館パンフ
レットより)』とあるように、目で
見るだけでなく宇宙、未来、過去と
さまざまに、それぞれの人に、それ
ぞれの感覚で何かを感じさせる空間
で構成されているようだ。
感じるための美術館？
美術館の白い塀の上を歩いてきた
ガラスも「作品の一つかしら？」と
帰りに思ったことである。

**会員登録の更新と
新規会員 入会お誘いのお誘い**

友の会では今後も鷹山宇一記念美術館の応援と
会員の皆様方に芸術・文化に一層親しんでいただけるよ
うな企画により、地域文化の振興に寄与していく所存で
ございます。皆様には引き続き会員登録をお願い申し上げ
ます。なお、更新手続きは、美術館窓口と郵便振替により随時
行っております。

▽ 一般会員	会費(個人) 年度会費 3千円
▽ 特別会員	会費(個人・法人) 年度会費 1万円
▽ 賛助会員	会費(個人・法人) 年度会費 2万円

※詳しくは、美術館までお問い合わせください。
TEL 0176-62-5858
FAX 0176-62-5860

十和田市現代美術館へは・・・

- 住所 青森県十和田市西2番町10-9
- 電話 0176-20-1127
- 交通 三沢空港より車で40分
東北新幹線八戸駅より車で45分
十和田観光電鉄十和田市駅
より徒歩20分
- 開館時間 9:00～17:00
(入館は30分前まで)
- 休館日 月曜日(祝日の場合はその翌日)
- 観覧料 一般 500円
高校生以下 無料

☆企画展は別途観覧料が必要です。

故宮博物院と美食の旅



故宮博物院 写真提供「台湾観光局」

世界一の中国美術工芸コレクションとして名高い故宮博物院は、ナント、およそ70万点もの収蔵品があると言われていています。フランスのルーブル、アメリカのメトロポリタン、ロシアのエルミタージュと並んで世界四大博物館の1つに数えられ、創設80周年となる2007年2月にリニューアルオープン。



台北市のナイトマーケット Wikipediaより転載

台湾は、日本からのアクセスが便利で、気軽に楽しみ、また対日感情も良く、安全に旅行することができます。台北市内観光、夜市の屋台巡り、多彩な中国料理、足ツボマッサージやエステ、景勝地観光などでお楽しみください。

★寄物の春★
 ★旅行の物★
 ★第4回海外研修旅行★
 ★台北から多岐にわたる観光地を訪問する★
 ★故宮博物院★
 ★台北の夜市★
 ★台湾のグルメ★
 ★台北の夜景★
 ★故宮博物院★
 ★台北の夜市★
 ★台湾のグルメ★
 ★台北の夜景★

編集後記

(E.T)

友の会特別企画、第4回海外研修旅行「充実の台湾4日間」の参加者を募集します。旅行期間は平成21年5月21日(木)～5月24日(日)の4日間。昨年リニューアルオープンしたばかりの世界4大博物館の一つ「故宮博物院」をじっくりと見学いただけます。また、グルメのテーマパーク台湾ならではのおいしい食事をご用意しています。旅行3日目には様々なオプションツアーもご用意しました。

詳しくは別添の旅行パンフレットをご覧ください。

募集締切は 平成20年12月25日(木)です。



故宮博物院HPより転載

清 翠玉 白菜
 巧彫とは素材の自然な形と色を活かした創作手法で、この翠玉白菜は巧彫の理念を余すところなく表現した作品と
 言われています。
 翠玉は元々「永和宮」の置物でしたが、白菜は純潔無垢、葉先のキリギリスは多産を表しており、潔白な新婦の子孫繁栄を願ったものです。

日程

- 1日目 5月21日(木)
 09:00 美術館前から貸切バスにて仙台空港へ。
 19:25 台北空港着。台北市内で夕食。
- 2日目 5月22日(金)
 朝食後、台北市内観光。
 昼食後は旅行のメイン故宮博物院へ(3～4時間)。
 夕食は海鮮料理。その後夜市散策へ
- 3日目 5月23日(土)
 終日フリータイム。オプションツアーでお楽しみください。
 (料金別途要)
 ①高雄半日観光(台湾新幹線利用)
 ②淡水半日観光(台湾のベニスといわれるところ)
 ③タロコ渓谷観光(断崖絶壁の迫力ある景観)
 ④九份半日観光(レトロな町並み)
 夕食は杭州料理。
- 4日目 5月24日(日)
 朝食後、台北空港へ。
 10:00 エヴァー航空(BR118便)にて帰国の途へ。
 21:15 美術館前へ無事到着。おつかれさまでした。